

児童の内なる思いが「見える化」する瞬間@広島・福山市立戸手小学校



(撮影：吉原紀夏教諭、釜木浩通教諭)

福山市立戸手小学校の5年生 66 人が 2022 年 1 月 26 日、「ペタッと SDGs ふせん」を使ったワークショップをオンラインで体験しました。(5、6 校時、2 クラスで同時実施の Zoom によるオンライン授業)

SDGs についての簡単な説明とワークショップのやり方をお話したあと、今回はあらかじめ用意した記事を使い実施しました。最初は一人ひとりが SDGs の視点で記事を読み込み、どのゴールと関連するか考えます。関連するゴールの「ペタッと SDGs 新聞学習ふせん」を手に取り、余白に「つぶやき」(思ったことや感じたこと)を書きます。そのあと、グループやクラス全体、オンラインを使い学年全体で発表していきます。

最初の 1 枚をなかなか貼ることができない児童に「お友だちのふせんを見せてもらいながらアドバイスをもらおうといいよ」と画面越しに声をかけると、「あっそうか!」という表情で数名が席を立ちました。友だち同士で対話しながらふせんを貼る様子やアドバイスしあうクラスの雰囲気はとても素敵で「目標 17」のパートナーシップそのものでした。ひとつ書けるとつぎつぎとゴールのふせんに手が伸びます。内なる思いが「見える化」する瞬間。クラスで共有されたゴール(下の写真)をみても分かるように、様々な視点が生まれました。寄せていただいた児童の振り返りと先生のご感想もご覧ください。(遊佐美恵子)



児童の振り返り

- ・付箋を貼るのがとても楽しかったです。説明もとてもわかりやすかったです。
- ・付箋を書くときに最初は全く思いつかなかったけれど、ひとつ思いつくと、どんどん色々なつながりが思いついてきて本当に楽しかったです。
- ・SDGs についてもう一度考え直したり、自分の普段の過ごし方と重ねて考えたりできるオンライン授業でした。
- ・SDGs についてたくさん知ることができ、自分は何をしたらよいか、みんなと何を協力したらよいか分かりました。
- ・SDGs への心がけや取り組んでいかなければならないことなどを教えてくださったので、これからの生活に生かしていきたいと思います。
- ・SDGs のことを前よりもっと知ることができ、みんなと一緒に考えたのでとても楽しかったです。
- ・朝日新聞の遊佐さんが、わかりやすく私たちの立場に立って説明してくださったので、とてもよくわかりました。また、今と未来のつながり、そして大切なことについて教えてくださったのでとても勉強になりました。
- ・食品ロスをなくす取り組みをたくさん知ることができ、初めて知ったこともあったのでびっくりすることばかりで楽しかったです。
- ・SDGs のことについて「食品ロス」をテーマにすると色々な意見が出てきました。関係ないと最初思っていたことが、実はいろいろなつながりがあることに気づき、よく考えるとたくさんのつながりがありました。ありがとうございました。
- ・この度は、オンライン授業をしていただきありがとうございました。おかげで前よりもっと SDGs について知ることができました。これからもっと SDGs について知っていきたいです。本当にありがとうございました。
- ・本日はオンライン授業をしてくださりありがとうございました。総合的な学習の時間だけでなく、社会科等の授業とも関連して学習できたので、新しいことをたくさん知ることができました。これからも、きょう学習したことを覚えておき「自分が取り組めることはないかな。」と考えて生活していきたいと思います。自分にできることを積極的に取り組んでいきたいです。
- ・オンライン授業をしてくださりありがとうございました。SDGs にもっと関心がわきました。遊佐さんが教えてくださった内容を、これからの生活に生かしていければと思います。今日は本当にありがとうございました。

吉原紀夏教諭、釜木浩通教諭 振り返り

この度は、貴重な機会をいただきありがとうございました。子どもたちが友だちと意見を交換する中で、とても生き生きとしている姿が見られました。最初は意見を出すことが難しかったようですが、いろいろな立場で考えてみると、たくさんのつながりがあることに気づくことができました。子どもたちの意見を聞きながら、クラス・学年みんなで考えると、自分では意識しなかった新しい視点を知ることができ、わたしたち自身も楽しく、学びの多い時間となりました。また、「ペタッと SDGs 新聞学習ふせん」を活用して考えることで、どの子も楽しく学んでいるようでした。教えていただいたことをもとに、SDGs について学校全体に発信していきたいと思います。ありがとうございました。